NSN通信

Nursing Students from Niigata
＜発行＞高等教育コンソーシアムにいがた 看護系タスクフォース　新潟青陵大学

◆ 地域とつながる活動

　皆さんは12月1日が『世界エイズデー』ということを知っていましたか。HIVのことを正しく知ってもらうために、新潟青陵大学では2年生の有志が、学祭で『HIV/AIDS 啓発プロジェクト』を行っています。

　今年は30名が、新潟市保健所の保健師、新潟県福祉保健部の医師の方と連携して、136名の来場者に感染経路や検査、治療など紹介をしました。高校までの性教育ではHIV のことについて学ぶことが少ないと思うので、早いうちに正しい知識や予防方法を知ることは大切です。

　基本情報や感染経路、検査、治療など、担当を決め、〇×クイズなど参加者と一緒に学べるように工夫し、掲示物を作る中でどうやったら見やすいかなどみんなで考えながら準備しました。

　参加者アンケートでは、「エイズとHIVの違いやHIVウイルスの仕組みがよくわかった」「感染経路を理解できた」などの意見をいただき、この経験をこれからの学習に活かしていきたいと思っています。

◆ 命を背負う看護 ― 実習で学んだ責任と成長

　看護とは患者の人生に寄り添う仕事であり、いつも大きな責任が伴うのだと実習を通じて実感しました。実習中、看護師は他の職種の人たちと連携しながら、報告・連絡・相談をこまめに行っていると感じました。

　また、患者さんの身体や表業から出るサインを受け取り、その気持ちを想像し、つらさを共感することで「寄り添う看護」と言えることを学びました。テストや国家試験は、「根拠に基づいた看護」を実践するための基盤となる知識を身につけるため、合格のために学習するのはもちろんですが、「患者の安全かつ安楽な看護の実践」を念頭に学びに励みたいと、実習を終えて考えるようになり、目的意識の変化を実感しました。

　今回の実習で、命の重さを肌で感じる場面が多く、看護職者になることに希望と同時に「自分に務まるだろうか」と不安を覚えました。この気持ちをネガティブに捉えずに、優れた看護職者になるための重要な考え方と捉え、これからの授業、演習に励みたいと思っています。

新潟青陵大学
看護学部 看護学科
2025年度入学
三条高校 出身

新潟青陵大学
新潟青陵大学短期大学部

担当
高等教育コンソーシアムにいがた 看護系タスクフォース
新潟青陵大学 担当（吉井） TEL：025-227-2370